

## マンホール蓋高さ調整特記仕様書

マンホール蓋高さ調整工の施工方法は高流動性無収縮早強モルタル施工とし、請負人は以下の規定によること。

- (1) 日本下水道協会規格「JSWAS G-4(下水道用鋳鉄性マンホールふた)」を遵守すること。  
また、保護部材を設置すること。
- (2) 高流動性無収縮早強モルタルの物理的性質及び圧縮強度の確認のため、製品性能証明書を提出すること。

(目標値)

項 目	規 格 値
J <sub>14</sub> ロート流下時間 (秒)	6 ± 2
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	9.8 以上
収縮・膨張性	収縮しないこと

注. 圧縮強度は温度 20℃、養生時間 1.5 時間での規格値

- (3) 受枠変形防止機能の確認のため、製品性能証明書を提出すること。

(目標値)

項 目	規 格 値
枠変形防止性確認試験 (JSWAS G-4、参考資料 5 参照)	変形量 0.2mm 以下

- (4) 高さ調整部材が設置されていることが確認出来る写真を施工箇所全て撮影し、監督員に提出すること。
- (5) マンホール上部壁にインサートナット等がない場合に設置するあと施工アンカーの引抜強度計算書を提出すること。なお、アンカーの引抜強度は3本で106KN以上とする。

(参考図)

